

都民ファーストの会中野区議団
黒沢 ゆか

保育需要の地域偏在

問　区全体の一律的な枠組みだけで判断するのではなく、東中野などの保育需要が構造的に偏在している地域については、0歳枠や1歳枠を弾力的に増員するなど個別に対応する必要があるのではないか。

答　今後、エリア別で定員の弾力化を図っていくなど、地域の需給状況を踏まえ、必要な取り組みを実施したい。

中高生の発達支援の充実

問　中高生を含む学齢期の子どもたちに対し、発達の特性に応じた具体的な支援メニューを充実させていくべきでは。

答　子どもの特性に応じた支援プログラムについて、先進的な取り組みを研究するほか、関係機関と連携を図り、中高生年代を含めた切れ目ない支援体制を充実させていく。

ケアマネジャー確保策

問　区としても人材確保に向けた独自の支援策を強化していく必要がある。区の考えは。

答　国や都による支援の対象範囲や区内事業所における人材確保・定着の課題を把握し、必要な支援を検討する。



自由民主党議員団
武井 まさき

郵便局との連携拡充

問　郵便局の地域ネットワーク等を今後の地域政策の重要な連携先として位置付けては。

答　郵便局は、地域住民と日常的な接点を持つ重要な連携先の一つと考えている。

問　区民の利便性、地域需要、費用対効果、地域事務所との役割分担を検証し、郵便局に担ってもらうことが効率的な業務を具体的に選定しては。

答　公平性、事務負担、持続可能性、実施効果、地域性等の観点や全国の事例等を参考に研究していく。

問　個別の連携協定にとどまらず、地域が抱える様々な課題の解決や区民サービスの向上につなげるため、包括連携協定の締結を検討しては。

答　連携の可能性について、区の考えを整理するとともに、確保の上で重要である。雨量や河川水位等を総合的に把握し、区民が適切な行動につなげられるよう、区の対応状況と併せて情報を発信していく。

風水害時の学校対応

問　大雨等への対応に関する前日のお知らせは全校共通の内容であるにもかかわらず、学校ごとに配信時刻が異なっている。教育委員会から一括して配信すべきではないか。

答　学校と調整の上、前日のお知らせは、教育委員会から一斉配信するよう見直す。

健康寿命の延伸

問　受診や通院もしていないハイリスクな高齢者を見逃さないセーフティネットとして、長寿健診が果たす役割について、区の認識は。

答　医療や健診の機会から途切れてしまった高齢者を見逃さず、重症化する前に発見し、医療や地域につなぎ直すためのセーフティネットであると認識している。

問　長寿健診の自己負担金500円を廃止し、完全無償化に踏み切るべきではないか。

答　受益者負担の考えから、自己負担金をお願いし、支援が必要な方には、免除制度を設けている。今後も健診受診率向上に努めていく。



立憲・国民・ネット・無所属議員団
中村 延子

行政評価による事業見直し

問　次定例会で報告される予算で検討中の主な取り組みで、見直し事業を公表しては。

答　予算規模や区民生活へ影響が大きいものは、取組（案）で見直し事業を示していく。

産後ケアの充実

問　先進自治体の事例を参考に、区も産後1年以降の母子支援を検討すべきではないか。

答　産後ケアは、今年度から多胎児の利用回数の見直し等の拡充を行った。利用対象年齢も柔軟な対応が求められていると認識しており、ニーズの把握に努め検討していく。

母子保健DXの推進

問　電子母子手帳の導入により、申込みの一体化・簡素化や利用状況の適切な管理が期待される。病児・病後児保育をはじめ、母子手帳の情報を活用する子育て支援施策についても申込みできるようにすべきと考えるが、検討状況は。

答　様々なサービスの利用しやすさの向上に努める。

水害対策

問　線状降水帯などの災害情報は区民の不安に直結する。必要な情報を適切な内容とタイミングで発信することが重要と考えるが、区の認識は。

答　気象情報は、区民の安全にどのように取り組むのか。

答　現場の状況を継続的に把握し、課題解決を支援する。

旧沼袋小学校跡地活用

問　閉校から15年が経過した。将来像や活用の方針変更について、節目ごとに地域住民へ十分な説明を行ってきたのか。

答　最終的な活用方針について、地域への明確な説明はしていない状況だと考えている。

問　住民が参加できる機会を設け、意見を反映すべきでは。

答　地域と区が互いに認識を深められるよう努め、跡地について地域と共に考えていく。



公明党議員団
日野 たかし

整備計画と連動した財政運営

問　世田谷区は、施設整備計画の中で政策ごとに経費の削減効果を試算している。施設整備によって削減できる額を数値で評価できるため、取り入れるべきではないか。

答　政策ごとの縮減額の示し方など、分かりやすく示す工夫をしていく。

問　施設整備計画を実施した場合の将来を示す財政的な出口管理として、年間整備費、基金、起債、償還額等と施設整備計画を連動させた予測をしてはどうか。

答　各金額と施設整備計画を連動させた予測については、毎年度、当初予算の概要で示していきたい。

生成AI導入の効果と検証

問　導入ライセンス数ありきではなく、職員の業務削減時間や費用対効果、区民サービスに向けられた時間などを合わせたKPIを具体的に評価するべきではないか。

答　超過勤務の削減を中心としたKPIを設定し、削減時間と経費を対比した費用対効果を測定していく。

問　更に深いレベルでの行政改革を可能にすべく、生成AIを高度に生かすための専門部署や課の設立を検討しては。

答　専門部署設置の必要性については、組織全体の体制を踏まえながら整理していく。

災害対策

問　災害時相互応援の協定において各自治体のレンタカー店等で軽トラック確保の取り組みを検討するべきでは。

答　災害時における軽トラックの確保については、狭隘道路が多いという中野区の特性を踏まえて検証し、有効性が認められる場合には、レンタカー事業者との協定を含めた確保手法について、各自治体の例も含め研究していく。



立憲・国民・ネット・無所属議員団
細野 かよこ

ジェンダー平等

問　区の男女共同参画基本計画の各事業がジェンダー平等に寄与しているか検証しては。

答　次期計画の策定に合わせて検討していく。

問　今後の予算編成や行政評価に、ジェンダー主流化の考え方を取り入れるべきでは。

答　ジェンダーの視点を踏まえたものとなるよう確認する。

災害時の医療機器の電源確保

問　停電が長期化し、蓄電池や人工呼吸器のバッテリーを充電する必要が生じた場合、充電できる場所はあるか。

答　4カ所のすこやか福祉センターに充電ステーションを開設する想定である。

問　災害時の電源確保をより充実させる必要があるのでは。

答　検討を進めていきたい。

切れ目のない介護支援

問　介護認定に時間を要する状況が続いている。改善策は。

答　更なるデジタル技術活用や調査体制の強化等を進める。

問　申請から最終認定までの具体的な目標を設定し、認定期間の短縮に努めるべきでは。

答　検討していく。

問　第2号被保険者も、おむつ給付の対象とすべきでは。

答　検討していく。

問　事業所の経営基盤の維持

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の決起大会



8月27日に、野方区民ホールで、西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会が行われました。

森たかゆき議長が出席し、区議会代表として挨拶（あいさつ）を行いました。

中野区議会では、
ペーパーレス化等の推進のため、
デジタル機器を活用しています。

区議会各会派のEメールアドレス

立憲・国民・ネット・無所属議員団	rikkennakano@gmail.com
自由民主党議員団	office@njp.gr.jp
公明党議員団	netnakano@gmail.com
日本共産党議員団	mail@jcpnakanoku.net
都民ファーストの会中野区議団	tomin1st.nakano@gmail.com